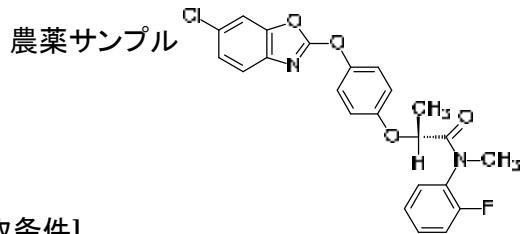
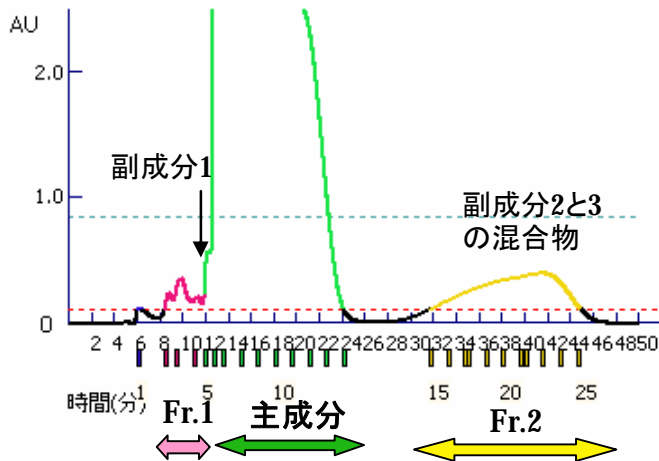


# 農薬サンプル中の微量成分の分取-1

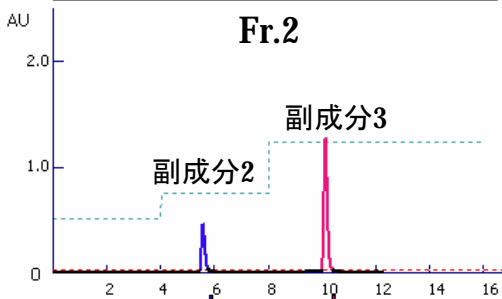
Purif-Pack® SI,ODS

今回用いた農薬サンプルは除草剤の一つで、脂溶性が高く水に溶けにくいことが構造式からも分かります。ここでは微量成分の取得を目的として精製を行いました。しかしHPLCの条件では難溶なため、順相分取を行ったあとで、逆相分取を行い微量成分の取得に成功しています。さらにパラレル精製装置であるPurif-Rp2の2chを有効に使って時短も達成しています。



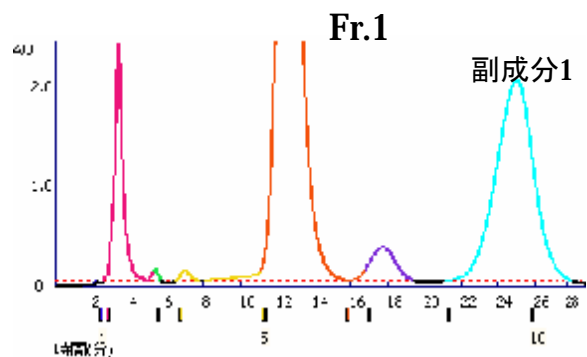
[分取条件]  
 装置: Purif Rp2  
 カラム: Purif-Pack SI30 μm SIZE400  
 流量: 60ml/min  
 移動相: ヘキサン/酢酸エチル アイソクラティック  
 検出: UV254nm  
 サンプル量: 20g (ジクロロメタン溶解)

副成分2と3の混合物を逆相分取

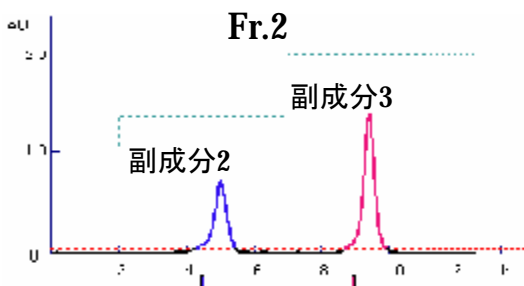


[分取条件]  
 カラム: Merck Chomolith® SemiPrep  
 流量: 10ml/min  
 移動相: 水/アセトニトリル ステップグラディエント  
 検出: UV254nm (高感度セル使用)  
 サンプル量: 約5mg

主成分と副成分1の混合物を逆相分取



[分取条件]  
 カラム: Purif-Pack ODS30 μm SIZE60  
 流量: 20ml/min  
 移動相: 水/アセトニトリル アイソクラティック  
 検出: UV254nm (高感度セル使用)  
 サンプル量: 約100mg



[分取条件]  
 カラム: Purif-Pack ODS30 μm SIZE60  
 流量: 20ml/min  
 移動相: 水/アセトニトリル ステップグラディエント  
 検出: UV254nm  
 サンプル量: 約1.5g

農薬サンプル中の副成分1、2、3と主成分の計4成分の分離回収を達成。  
 分取精製装置Purif-Rp2 1台で、順相分取と逆相分取を組み合わせることにより効率良く精製が可能。